

第46回 ナノビズマッチ

ナノテクノロジービジネス推進協議会(NBCI) ビジネスマッチング推進委員会では、技術シーズと市場のニーズのビジネスマッチングを目的とした「ナノビズマッチ(NBM)」を開催しております。

今回はナノテクノロジーに絡んだ先端技術を持つ優良企業を集め、ビジネスパートナーを探索している企業からの技術シーズ発表を実施いたします。発表される企業は、開催会場で展示を行っている企業となります。多数の方々の参加をお待ちいたします。

- 日時 : 平成 24 年 2 月 15 日(水) 13:00~14:45
- 場所 : 国際ナノテック総合展(nanotech2012)会場内の『シーズ&ニーズセミナーB』
(国際ナノテック総合展の案内: <http://www.nanotechexpo.jp/>)
(会場マップ: http://www.nanotechexpo.jp/pdf/floormap2012_j.pdf)
(会場: 東京ビッグサイト 東5ホール奥)
- 主催 : ナノテクノロジービジネス推進協議会(NBCI) ビジネスマッチング推進委員会
- 協賛 : 公益財団法人川崎市産業振興財団(予定)
株式会社ケイエスピー(予定)
独立行政法人産業技術総合研究所(予定)
首都圏産業活性化協会(TAMA協会)(予定)
独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(予定)
公益財団法人千葉県産業振興センター(予定)
株式会社つくば研究支援センター(予定)
財団法人長野県テクノ財団(予定)
イノベーションエンジン株式会社

- 参加費 : 無料
(但し、nanotech2012の会場に入るために、来場事前登録をお願い致します。)

<http://evt-web.jp/nanotech/>

- 参加申込 : E メールにて、参加者名、会社名、所属、E-mail アドレスをご記入の上、

ota@nbcj.jp

宛てにお送りください。 * 定員になり次第、締め切らせていただきます。

◆◆◆ プログラム詳細(2012年2月15日) ◆◆◆

13:00-13:04 開会挨拶 NBCI

13:05-13:20 『高速原子間力顕微鏡 新機種 NanoExplorer のご紹介』

発表者 : 株式会社生体分子計測研究所 取締役・生体分子計測事業部長 森居 隆史 氏

発表概要 : 同社は、金沢大学・安藤教授により開発された高速原子間力顕微鏡(高速 AFM)を製品化し、国内外に販売しております。高速 AFM は、蛋白質や DNA など生体分子が溶液中で動き回り、結合したり、反応したりする様子を、動画で観察することができる唯一の原子間力顕微鏡で、新薬や新材料の研究開発の進展に貢献いたします。また、静止画の測定においても、短時間で画像取得が出来る為、試料の揺らぎや振動ノイズに強く、高い分解能が得られます。新機種の NanoExplorer では、同社従来製品 Nano Live Vision の高速性を引き継ぎつつ、設計を見直すことにより、オプション機能の充実を図るとともに、コストダウンを実現しました。

発表目的 : 顧客開拓

13:21-13:36 『放射線グラフト重合法を用いた高性能化学吸着剤及びその応用事例』

発表者 : グラフトラボラトリーズ株式会社 代表取締役 石渡 史朗 氏

発表概要 : 同社は、放射線グラフト重合法(同時照射法)を用いた化学吸着剤の開発/製造/販売を行っています。本発表では、放射線グラフト重合の概要説明、製品の紹介、応用事例などを発表します。

発表目的 : 顧客開拓

13:37-13:52 『ナノ粒子を活かしたライフイノベーション』

発表者 : 株式会社SNT 代表取締役 堀田 芳生 氏

発表概要 : 同社は慶應義塾大学白鳥研究室の研究シーズを元に、共同研究を請け負う研究開発集団です。ウェットプロセスによる薄膜開発を行っています。ナノテク2012ではナノ粒子を使ったコーティング薄膜の技術発表を行ないます。一番の目玉は超撥水・超撥油コーティングです。ナノ粒子を用いて蓮の葉の表面に似た凹凸構造を形成する液剤の開発を行っております。水はもちろん油もよく弾き液滴として流れますので、防汚や身離れ用途などが想定されます。本発表では技術内容だけでなく、特に用途開発のご提案をしたいと考えております。

発表目的 : 試作、受託研究、共同研究のパートナー探し。用途開発、技術マッチング

13:53-14:08 『TEMPO 酸化セルロースナノファイバーの製造および用途開発』

発表者 : 日本製紙株式会社 主席研究員 河崎 雅行 氏

発表概要 : 木質バイオマスから得られるセルロースナノファイバーの製造および用途開発に関する研究が世界的に注目されています。その中で、TEMPO 触媒を用いてセルロースを酸化することによって低いエネルギーで均一にナノ分散することが、東京大学の磯貝研究室で見出されました。このセルロースナノファイバーを素材とし、改質・構造制御技術、塗工技術などを組み合わせ、オールバイオマスで高ガスバリア性を有する包装部材の実用化開発をNEDO プロジェクトで取り組んでいます。本発表では、プロジェクトの開発状況および包装部材以外にも補強材など産業用ナノファイバー、透明材料、電子材料など様々な用途開発の可能性について説明します。

発表目的 : 顧客開拓

14:09-14:24 『フラーレンの新たな用途に向けて』

発表者 : フロンティアカーボン株式会社 代表取締役 有川 峯幸 氏

発表概要 : フロンティアカーボンは、ナノカーボンの一種・1885 年に発見されノーベル賞の対象となった物質:フラーレン、及びフラーレン誘導体・フラーレンに関するソリューションを市場に提供しております。フラーレン・フラーレン誘導体は、既に品質・量・納入責任等において工業用材料としての供給が可能となってきており、スポーツ用品を始めとして多数の消費者製品・製造プロセス用材料として実用化されております。しかしフラーレンの持つ多彩な特性・特徴が全て活用されているとは言えず、新たな用途展開への期待は未だ大きいです。今回フラーレン応用の実例を示しながら、その特徴についてご紹介し、その可能性について相談させて頂きたいです。

発表目的 : 顧客開拓

14:25-14:40 『ナノカーボン複合めっき技術の事業化』

発表者 : サン工業株式会社 開発課主任 河合 陽賢 氏、児玉 竜 氏

発表概要 : 同社は長野県南部のめっきメーカーで、One & Onlyの技術確立を目的に研究開発に取り組んでおります。これを実現するため信州スマートデバイスクラスターに参画し、ナノカーボン複合めっきについて2つの共同研究開発に取り組んできました。まず、カーボンナノチューブ複合銀めっきは、接触抵抗が低く硫化の影響を受けにくい特長があり、高級オーディオの接点で使われているほか、様々な分野で採用に向け評価が進んでおります。ナノカーボン複合硬質クロムめっきは最近開発に成功したのですが、摩擦係数が低く、耐摩耗性が向上できる特長があり、事業化に向けサンプル提供を開始しました。これら2つの技術についてご紹介します。

発表目的 : 顧客開拓、共同開発先募集